

カイトと  
リュウさんの

# 博物館へ行こう

その6 泉佐野市立歴史館いずみさの



カイトとリュウさんは、大阪府立弥生文化博物館の展示品から飛び出した、博物館のキャラクター「館キャラ」です。本冊子では「弥生遺跡」や各地の「博物館」を訪ねて日本中を駆けめぐります。二匹の活躍にご期待ください！



今回は  
泉佐野市立  
歴史館いずみさのに  
来ました。



本冊子は地域をこえた博物館ネットワークの形成を目的として作成しました。

ひねのしょう 日根荘ものがたり

平安時代後半ごろから戦国時代の一部までの約四百年間を中世というんじゃ!

鎌倉時代中期(1234年)今の泉佐野市一帯が京の都の公家「九条家」の領地となり、(これを「荘園」というのじゃ)

田んぼや畑が切りひらかれていった。

誰!?

模型:「中世の村」(歴史館いすみさの所蔵)

まあ、それ、わしなんじゃけど!!

守護方 補地の警備役から権力も持ったようになった武士

根来衆 根来寺の僧兵

そのころ、1501年には九条家から、荘園を直接経営するために九条政基が日根荘にきたのじゃ。

この時代は時には水不足に悩まされたり各地で守護方や根来衆との勢力争いなど、大変なこともたくさんあった...

おこりました。

日根荘を狙っている勢力

カッ

と...とにかく、泉佐野市には日根荘があったころの風景がよく残っている場所があり、日根荘遺跡とよばれています。

わしが書いた日記も残っておるからの!

日根荘にいたころの記録がしっかり残っておるのじゃ!

主張、激しいなあ...

歴史館いすみさのには日根荘遺跡の歴史を中心に、中世の人々のくらしがわかる資料が展示されているよ。

政基公殊引付

国内各地には、それぞれの地域の歴史や風土に合わせ、個性豊かな博物館が設置されています。

カイトとリユウさんの  
博物館へ行こう

泉佐野市立歴史館いずみさの



まだ見ぬ博物館では、新しい発見と出会いがアナタを待っているはず。



↑『弥生博のカイトとリュウさん』第15話をみてね！



ぜひ足をお運びいただき、豊かで奥深い歴史と文化にふれてみてください！

# カイトとリュウさんの 博物館へ行こう

泉佐野市立歴史館いずみさの

しょうくん：はじめまして！ここからは、ぼくたちが『歴史館いずみさの』のことを紹介していくね！

ひねのちゃん：はじめまして。カイト、リュウさん、しつかりついてきてくださいね♪

し：『歴史館いずみさの』は、大阪府の南西部にある泉佐野市というところにあるんだ。かつて、泉佐野市にあった荘園「日根荘」を中心に紹介する博物館として、平成八（一九九六）年に開館したんだよ。

ひ：入館は大人も子供も無料なので、から気軽に来てくださいね。さて、しょうくん、まずは常設展示室からご案内をお願いしますよ。



▲しょうくん

▲ひねのちゃん



▲常設展示室への入口だよ！

## 常設展示室

### 「中世荘園の人びと」

し：よっしゃ、張り切って行こう！…でも、展示室では走らないようにしないとね！

歴史館に入ると、すぐに常設展示室。「中世荘園の人びと」というテーマでいろいろな資料が展示されているよ。多くの荘園が成立した鎌倉時代を中心に人びとの暮らしのようすや、日根荘に関する資料を展示しているんだ。



▲ジオラマ「中世の村」

## 大ジオラマ！「中世の村」

「中世の村」は、常設展示室の人気展示！カイトとリュウさんもさつき見てくれていたね！ボタンを押すと、この模型に住んでいる人たちが、荘園の成り立ちや当時の人びとの暮らしのようすなどを分かりやすく説明してくれるよ。

このほかにも、当時の家のジオラマ



▲犁（復元）

や生活道具、農業に使っていた道具なども展示していて、中世の日根荘のようすを知ることができるよ！



▲犁を使うようす



## 現在にその姿を残す「日根荘遺跡」

ひ：しょうくん、日根荘のことを教えてあげ

カイトとリウさんの 博物館へ行こう

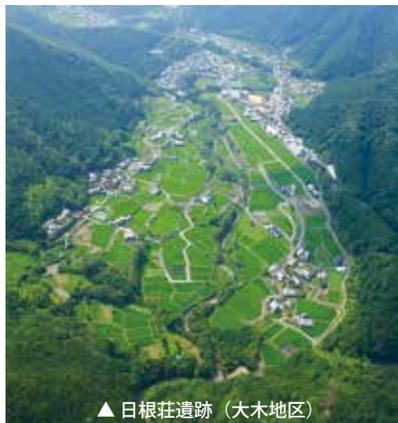
ないと…。



し…おっとーそうそう、日根荘について説明するね。日根荘ってというのは、京都に

いた貴族の九条家が天福二（一二三四）年に成立させた荘園のことなんだよ。成立した頃の荘園は今の泉佐野市とほぼ同じくらいの広さがあったんだ。でもね、徐々に勢力を増した守護大名や根来寺の攻撃をうけてどんどん土地を奪われ、今の日根野地区と大木地区を残すのみとなっていつちゃったんだよ。

そんな中、文亀元（一五〇一）年に、前関白の九条政基という人が日根荘を立て直すためにやってくるんだ。この時、政基が書いた『政基公旅引付』は、



▲日根荘遺跡（大木地区）



▲井川

れど、その根来寺も豊臣秀吉が紀州（和歌山）を攻めたときに燃えてしまうのですよ。それと同時に日根荘の歴史にも幕が下りるの。



し…でも、日根荘はすっかり無くなってしまったわけではないんだ。田畑の開墾のために作られたため池や、「井川」という荘園全体の田畑に水を引くために作られた川とかは当時のすがたを留めている。他にも正和五（一三一六）年に

描かれた『日根野村絵図』にある神社のほか、『政基公旅引付』の文中に登場する場所も、人びとに受け継がれながら今に残ってるんだよ。

約四年間にわたって書かれた日記のような書物なんだけど、守護大名や根来寺との紛争のさなかに生きる村人のすがたを知ることができるよ。争いに巻き込まれたり、日照りによる飢饉に苦しんだり…。大変なことがかりだけど、当時の暮らしを知るための貴重な資料として今に伝えられているんだ。



ひ…でも、政基も永正元（一五〇四）年には日根荘を去ってしまっの。そのあと日根荘は根来寺の支配下に入るのですけ



▲日根神社  
(絵図では大井関神社と書かれている)



▲長福寺跡の堂跡・池跡  
(九条政基の滞在した場所)



ひ…このように「日根荘」は、当時のようすがよく分かる資料がたくさん残っていること、そして資料に登場する寺社や丘陵などが今も存在する全国でも珍しい遺跡として、平成一〇年に「日根荘遺跡」として国史跡に指定されたのです。

また、日根荘の中でも特に大木という場所は、荘園があったところの景観をととてもよく残しているので、大阪府内で初めて国の「重要な文化的景観」に選定されたんですよ。現地へ行ってみると、タイムスリップしたみたいのどこかな風景が広がります。わたしも大好きな場所なのですよ。



▲日根荘大木の農村景観

し・常設展示室では、絵図の複製資料など日根荘に関する資料の展示がたくさん！これらの資料を見学したあとに、現地へ行ってみると、日根荘のことがもっと分かるはずだよ



いろいろな展示があるね

▲特別展示室

**特別展示室**  
「知ろう！学ぼう！泉佐野の歴史！」

常設展示室を奥に進むと特別展示室があるよ。ここでは泉佐野の歴史や、泉佐野に関係する歴史、美術、民俗などをテーマにして、期間を決めて特別な展示をしているんだ。  
常設展示室で展示している日根荘のほかにも、泉佐

野には奥深い歴史や民俗など、見どころがたくさん！みんなに泉佐野のことを知ってもらえたら嬉しいなあ！

**エントランスで情報収集!!**



ひ・歴史館に入っすぐのスペースは、歴史館いずみさののいわば導入部です。泉佐野の情報を集めたり、実際の資料に触れたり、常設展示のクイズがあつたりといういろなことを楽しめます。クイズに正解したら、受付でプレゼントがもらえるので、挑戦してくださいね！あつ、そうそう、記念撮影できる場所もあります。  
うふふ！カイトとリュウさん、似合っ



リュウさんとカイトいよ

▲記念撮影スポット

あと、奥には図書閲覧スペースがあります。大阪府や泉佐野市のこと、そのほか歴史に関する本を置いていて、歴史の気になることを調べるスペースとして、みなさんが利用できるようにしています。現地へ行く前に、ここで情報を集めるのいいと思いますわ！



▲ビデオ紹介「泉佐野市のすがた」

てますよ！  
受付窓口では、過去の特別展の図録や、新修泉佐野市史、泉佐野市の歴史に関する書籍などを販売しています。



▲身近なものを材料にして作った「羽子板」

なんだ内容の体験プログラムを企画しているんだ。身近なものを材料に昔のおもちゃを作ったり、泉佐野市を含む泉州地域の特産品「泉州たまねぎ」を使って草木染めに挑戦したり、ほかの博物館と連携して特別なワークショップを開催したり・・・体験して楽し



イベントつばいー  
ワークショップと歴史講座

し..毎月一回、土曜日に「土曜れきし館ワークショップ」を開催しているよー歴史にち



▲歴史講座

みながらしっかりと学べるという、とてもおトクな催しなんだ。まだ体験したことのない人は、ぜひ参加してくれよ！  
また、中世史や考古学、古文書など、泉佐野に関する歴史を中心に講座形式で「歴史講座」も開催しているよ。大人向けのもので多いけれど、中には子供向けや親子で参加できる講座も企画しているんだ。歴史はなんとなく苦手だけど、少し興味がある！なんて人もオススメ！泉佐野に眠る歴史を知れば、普段通っている道や馴染みのある場所も、きつと楽しくなるはずだよー

おわりに



し..「歴史館いずみさの」や「日根

荘」のこと、興味をもってくれたかな？



ひ..展示やイベントなどの最新情報は、歴史館いずみさののフェイスブックで発信しています！ぜひ、チェックしてくださいね。

し..みんな、泉佐野の歴史を体感しに来てくれよな！  
ひ..お待ちしています！

泉佐野市立 歴史館いずみさの

住所：〒598-0005

大阪府泉佐野市市場東 1-295-1

電話：072-469-7140

開館時間：9時～17時

(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日、祝日(月曜の場合翌日、

日曜の場合翌々日)

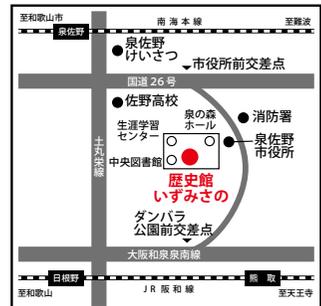
12月29日～1月3日

<http://www.city.izumisano.lg.jp/shisetsu/>

rekisi/rekiskan.html

【交通アクセス】

- (電車) 南海泉佐野駅から徒歩約20分  
南海泉佐野駅より大阪体育大学行き南海バス泉佐野市役所前下車徒歩約5分  
JR熊取駅より徒歩約20分
- (自動車) 国道26号市役所前交差点北入る最初の信号右折、次の信号を左折  
南海泉佐野駅よりいずみさのコミュニティバス(無料)泉佐野市役所前下車 徒歩5分



文化庁  
平成二八年度文化庁  
地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業  
「カイトとリュウさんの博物館へ行こう」  
その6 泉佐野市立歴史館いずみさの  
企画・編集：館キヤラ連携プロジェクト実行委員会  
大阪府立弥生文化博物館  
マンガカ：宮野ミケ  
テキスト：歴史館いずみさの 北原翔子  
発行日：平成二九年三月二二日  
印刷所：株式会社中島弘文堂印刷所